

市民参加型まちづくり1%システム（平成29年度2次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	新規	十腰内お山の会	十腰内地区お山参詣実施事業	市内でも有数のりんご生産地の十腰内地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事であり、約30年前から行われてきたお山参詣を、引き続き実施する。参加者が減少傾向にあることから、今一度地域に呼びかけ参加者を募り、子どもたちを巻き込むことで更なる地域の活性化につなげる。	478,000	74.5	-	○	478,000	講師等謝礼（まわし着付け・旗作成・ご幣作成講師）、消耗品費及び原材料費（旗材料、ご幣材料、記録写真保存用ファイル、ペンキ、事務用品）、燃料費（トラック・草刈機用ガソリン）、印刷製本費（案内文）、傷害保険料、使用料及び賃借料（バス、トラック、準備会場、スカイライン通行料等）、その他経費（交通整理員、まわし等）
2	継続	「話してみよう韓国語」青森大会実行委員会	第13回「話してみよう韓国語」青森大会	韓国語のスピーチ、スキット、自由発表を対象に大会を行う。初めての人でも気軽に出場できる環境をつくることによって韓国語に興味をもってもらい、通訳ボランティアを育成し、そこから弘前市のインバウンド観光につなげる。	146,000	56.4	-	×	-	（審査委員会での主な意見） これまでの大会継続や、参加者の増加に向けて工夫をされていることは評価できますが、本制度を活用する以上は、韓国語学習者以外の参加を促すため、周知方法や大会内容の工夫に努めていただきたい。
3	新規	西部仲町 自主防災会	防災・地域づくり・地域世代間交流事業「第1回 西部仲町 自主防災会 避難訓練事業」	これまで町民全員を対象とした「避難訓練」や「炊き出し訓練」などを一度も実施したことがないことから、昨年、自主防災会を設立したのを機会として、訓練などを行い、避難方法・避難誘導・避難者への対応・炊き出しの仕方・消火器の扱い方などを検証し、今後の活動に役立てる。災害弱者や孤立者を可能な限り、町会内で生じさせないため、町民全員が協力しあい、災害対応に努めていく。	333,000	76.0	-	○	333,000	講師等謝礼（看護師、技術指導者）、消耗品費及び原材料費（事務用品、作業用軍手、ブルーシート、タオル、炊き出し材料費等）、燃料費（発電機用ガソリン）、傷害保険料、使用料及び賃借料（ガス代・ガスボンベ）、その他経費（交通誘導警備、簡易発電機）
4	新規	東目屋ゲートボール愛好会	りんごの里 東目屋親善ゲートボール大会	ゲートボールの盛んな東目屋地区で、市内外（秋田県・岩手県含む）のチームが出場するゲートボール大会を開催する。他チームの選手と交流しながら、東目屋をPRするだけでなく、地域住民に大会を見てもらうことで、ゲートボール人口が増えるようPRし、ゲートボールを通して健康増進と親睦を図る。	77,000	53.4	-	×	-	（審査委員会での主な意見） 地域の活性化やゲートボール人口を増やすことを目的に大会を実施するという事業内容は理解できますが、子どもたちが参加できるようなコーナーを設けるような工夫や、地区内の町会から協力を得るようなことなども検討していただきたい。
5	継続	北地区コミュニティ会議	農園が社交場へ！！	地域住民の手で整備した交流農園を活用し、地域に住む子どもから高齢者までが野菜づくりを行うことによって、地域の連帯感を高める。休憩所をつくり、青空社交場、地域の交流の場として活用してもらう。また、農園において災害時を想定しての野外食をつくり、地域住民の防災意識を高める。	182,000	76.2	-	○	182,000	消耗品費及び原材料費（休憩所用資材、炊き出し用コンロ・炭・食器、救急用品、炊き出し用食材）、印刷製本費（記録用写真、チラシ等）、イベント傷害保険料、使用料及び賃借料（軽トラック）
6	継続	向外瀬町会	向外瀬町会 藩政時代へ旅する（パートⅡ） 開村誕生年祭	町会行事への参加者が年々減少傾向にあることから、地域住民が同じ方向を向いて同じことに挑戦するため、町会内に保存されている古文書の解明や町内お宝調査、絵馬模写などを実施し、その成果を取りまとめて開村誌を作成する。地域の成り立ちや歴史を知ること、地域に対する愛着を高め、町会行事等への参加意欲を高めることにつなげる。	500,000	72.2	-	○	500,000	交通費（絵画解説、古文書調査）、消耗品費及び原材料費（コピー用紙、ファイル）、印刷製本費（資料、開村誌、記録用写真）、イベント保険料、その他経費（絵画解説・古文書読解人件費等）
7	新規	十面沢お山の会	十面沢お山の会（お山参詣）	十面沢地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を引き続き実施する。準備段階からお山参詣への参加を地域に呼び掛け、次世代にこの行事を継承していくためにも、子どもたちを巻き込み、囃子の練習に参加してもらうなどして町内を活性化させる。	291,000	77.1	-	○	291,000	講師等謝礼（旗作成講師等）、消耗品費及び原材料費（ペンキ、ビニールテープ、トラック組立用単管、旗材料費等）、燃料費（旗運搬トラック用ガソリン）、印刷製本費（チラシ）、傷害保険料、使用料及び賃借料（作業場、バス、トラック、スカイライン交通料、待機場所等）、その他経費（囃子用鐘、ブルーシート、衣装クリーニング）
8	継続	弘前城Q&R実行委員会	「第4回弘前城Q&R」開催事業	若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、鬼から逃げながらクイズやミッションをクリアしていく「弘前城Q&R」というイベントを開催する。弘前に関係のあるクイズや、弘前の魅力を再発見できるようなミッションを準備することで、弘前市への興味・関心の向上を図る。また、小学生版を開催することで、小さいころの体験によって弘前と運動が好きなの若者の成長に寄与する。	500,000	73.8	-	○	500,000	交通費（スタッフ）、消耗品費（コピー用紙、ラミネートフィルム、ミッション関係物品、清掃用品、救急用品等）、食糧費（作業時飲み物）、燃料費（発電機用ガソリン）、印刷製本費（チラシ、ポスター、パンフレット、賞状、資料）、スポーツ保険料、使用料（会議室、会場、弘前公園有料区域入園料等）、その他経費（ホームページ関連、賞品等）
9	新規	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	くるくる運動プロジェクト事業	「ごみ」と「資源」の違いについて、広く市民に知ってもらうために、生ごみ堆肥化への参加者を募り、生ごみも資源であることをPRする。また、空缶アート・ペットボトルのキャップアートの実演や作品募集をし、作品展や催事で展示することで、資源ごみ回収運動への参加を促す。	360,000	57.5	-	×	-	（審査委員会での主な意見） 生ごみは家庭で堆肥化できる資源であり、生ごみ堆肥化を進めることでごみの減量化・地球温暖化防止につながることを啓発していくという活動理念には賛同しますが、市民が興味を持ち、活動に参加しやすくなるよう、内容・方法を検討していただきたい。
10	継続	栄町町会	いざ！ 我が町民（市民）を守ろう隊	町会の自主防災会の担当者を主体として、町民を安全に避難誘導するための避難訓練を昨年の課題を踏まえ実施する。また、婦人クラブによる炊出し訓練も行い、担当者が、それぞれの役割を認識しながら連携することで、参加者が自ら取るべき行動を身に付ける。	155,000	70.2	-	○	155,000	消耗品費及び原材料費（炊き出し材料、簡易食器、ペットボトル水、事務用品）、燃料費（発電機用ガソリン、炊き出し用灯油、炊き出し用プロパンガス）、普通傷害保険、その他経費（負傷者用リヤカー等）
11	継続	“わ”と“な”の生き生きサークル実行委員会	“わ”と“な”の生き生きサークル2	昨年度のサークル参加者が運営側となり、二大地区会館、清原中央公民館にて、地区の高齢者を対象に体操や体力測定、さまざまなトレーニングを取り入れたサークル活動を行う。地域で開催することによって、気軽に参加していただけるような環境をつくり、各地区に活動を根付かせていく。	71,000	76.9	-	○	71,000	講師等謝礼（体力測定講師）、消耗品費及び原材料費（コピー用紙、プリンターインク、ファイル、シール、脳トレグッズ等）、印刷製本費（チラシ、ポスター）、消耗品費及び原材料費（会場）

市民参加型まちづくり1%システム（平成29年度2次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
12	新規	DOG FES IWAKI 実行委員会	DOG FES IWAKI 2017	愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くするため、愛犬家と楽しみ、学ぶ場として、DOG FES IWAKI2017を開催する。ドッグランや、しつけ教室などのワークショップ、ミニゲームなどを通して、犬と外で遊ぶために必要な、人と犬との関係性やマナー、しつけについてや、命の大切さを知ってもらう。	500,000	65.7	-	○	500,000	講師等謝礼（ワークショップ講師）、交通費（講師）、消耗品費及び原材料費（ブルーシート、会場設置資材、スタッフ腕章、ワークショップ材料費等）、食糧費（講師弁当・飲み物、作業時の飲み物）、燃料費（発電機用ガソリン）、印刷製本費（ポスター、チラシ、パンフレット、のほり等）、施設所有者賠償責任保険料、使用料（会場、テント、音響機材等）、その他経費（会場設置、駐車場警備等）
13	継続	弘前アートプロジェクト実行委員会	「ひろさき美術館 2」	菊と紅葉まつり期間中の旧弘前市立図書館を会場として、現代アート作品の展示と、作家によるワークショップを行う。弘前公園周辺を一体とした弘前の新たな魅力として発信していくとともに、アートを媒体として、たくさんの人に足を運んでもらい、弘前市立図書館ほか、弘前市の建築物の新たな魅力を体感していただく機会とする。	500,000	70.5	-	○	500,000	消耗品費及び原材料費（コピー用紙、封筒、ラベルシール、ワークショップ材料）、印刷製本費（チラシ、ポスター、パンフレット、デザイン料）、通信運搬費（案内状用切手）、イベント保険料、使用料及び賃借料（展示作品）、その他経費（作品デザイン料、パンフレット原稿料、振込手数料）
14	継続	大沢サマーフェスティバル実行委員会	大沢サマーフェスティバル	これまで実施してきたサマーフェスティバルを引き続き開催し、祭りと同日に、防災訓練（炊き出し訓練や情報収集訓練、救護訓練など）を行う。地域住民が一堂に会し、交流を深め、地域活性化を図ることにより、お互いの顔が見える関係を作り出し、自主防災などの活動にも役立てていく。	341,000	72.2	-	○	341,000	講師等謝礼（ドローンオペレーター、出演者）、消耗品費及び原材料費（炊き出し材料、調理器具、ゴミ袋、軍手、救急用品）、食糧費（作業時飲み物）、燃料費（発電機用ガソリン）、レクリエーション保険料、使用料及び賃借料（ウイングトラック、音響機材、発電機、投光器、軽トラック、会場）、その他経費（打ち上げ花火、看板）
15	継続	南大町町会	弘前城の何でも歴史名人になろう。	町会の児童や生徒数が減少し、町会の行事に参加する子どもが少なくなっていることから、世代間で交流を図れる事業として、町会の子どもたちと弘前公園へ行き、弘前城の歴史を学べる場を設ける。子どもたちが成長して郷土を離れても、弘前の良さを他の地域の人にアピールできるような、郷土への誇りを持った人間の育成を図る。	54,000	60.8	-	○	54,000	講師等謝礼（講師）、交通費（参加者）、消耗品費及び原材料費（コピー用紙、プリンターインク）、印刷製本費（資料等コピー）、傷害保険料、使用料及び賃借料（会場費、入場料）
16	新規	オリーブふれあい会	認知症カフェ	毎週木曜日に、駒越町で認知症カフェを開催する。珈琲を飲みながら、おしゃべり感覚で気軽に認知症の相談ができる場を提供する。また、定期的にヨガ・詩吟・化粧などを行うことで、MCI（軽度認知障がい）の人やその家族との信頼関係を結び、住み慣れた地域で過ごすことが出来るよう、具体的な援助をしていく。	220,000	62.2	-	辞退	-	※県の委託事業に申請することから、6月19日付けて辞退届の提出がありました。
17	継続	NPO法人harappa	コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」	中心市街地を会場として、県内で上映されることが少ないミニシアター系の映画や、新作のドキュメンタリー映画、弘前出身の監督作品を上映する。上演終了後には、メディアリテラシーを育む取組として、監督や俳優などによるティーチインも併せて行う。中心市街地において映画上映の機会を設けることで、地域との連携を高め、街中の賑わい創出に寄与する。	500,000	66.2	-	○	500,000	講師等謝礼（講師）、交通費（講師）、消耗品費及び原材料費（コピー用紙、封筒、ラベル）、印刷製本費（案内状用切手、上映素材発送費）、使用料及び賃借料（会場、会場設置、フィルム、上映設備）、その他経費（振込手数料）
18	新規	あおもりCAPの会 中弘南黒支部	CAPを子ども達に届けよう 副題「暴力から自分を守る力を子どもに！」	教育現場、行政関係者、保護者、地域の大人に、いじめや暴力防止のための1つの方法としてCAPプログラムがあることを知ってもらい、いじめ・暴力防止に対する共通認識を持ってもらうため、公開講座を実施する。講座は、幼稚園・保育園の教職員/保護者・地域の大人、中高の教職員/保護者・地域の大人と、それぞれの立場や発達段階に分けて開催し、それぞれの立場での対応の仕方を学んでもらう。	306,000	72.0	-	○	306,000	講師等謝礼（講演会講師）、交通費（講演会講師）、消耗品費及び原材料費（コピー用紙、プリンターインク、印刷製本費（資料）、事務用品、副読本）、印刷製本費（チラシ）、通信運搬費（切手）、使用料及び賃借料（会場、会場備品）
19	新規	狼森町会	狼森町会史発刊	狼森町会には、農村医療が始まった場所というほか、さまざまな歴史があり、その歴史を後世に伝えていくため、歴史や昔の資料をまとめた冊子を作成する。作製後は、各世帯や公共施設に配布するほか、町内の老人クラブと子ども会で勉強会を行い、地域の歴史を学びながら、多世代交流を図る。	500,000	73.3	-	○	500,000	印刷製本費（町会史製本費、コピー、記録写真）
20	新規	子育てババママ楽習会 運営委員会	子育てが楽しくなる ババママ楽習会	楽しく子育てをするひとつのきっかけとしていただくため、講師を招いて、楽習会を開催し、心理学をベースとした考え方（選択理論）や親子の具体的な関わり方を学ぶ。また、月1回のババママ楽習会を開催し、理論の考え方の基本を学んだり、振り返りや実践してみた結果の共有等を行うほか、子育てに奮闘している同じような境遇のババママ同士の繋がりを育むことによって、心の安定と欲求充足をサポートし、こどもにとってもより良い環境を創造する。	500,000	62.0	-	○	500,000	講師等謝礼（講師）、交通費（講師）、消耗品費及び原材料費（プリンターインク、コピー用紙）、印刷製本費（チラシ、資料）、使用料及び賃借料（会場、音響機材）、その他経費（託児代）
21	新規	ひろさきナラティブ.net	青森サミット2017	県内外で活躍している多様な団体による活動報告、基調講演、団体同士の交流時間で構成される青森サミットを開催する。この場での交流を通じ、医療・福祉・介護専門職と、自主団体、地域おこし等の活動をしている団体や個人がお互いを認知し、つながることで、弘前の包括的な地域づくりを目指す。	449,000	72.9	-	○	449,000	講師等謝礼（講演会発表者、司会、手話通訳）、交通費（発表者）、消耗品費及び原材料費（プリンターインク、封筒）、印刷製本費（チラシ、デザイン料）、通信運搬費（切手）、使用料及び賃借料（会場、会場備品）
22	新規	HIROSAKI市民球団プロジェクト 弘前アレックス	「アレックスわくわくパーク」事業	様々な理由で、スポーツをやりたいとできない子どもたちのために、アレックスわくわくパークを立ち上げ、「遊びを通して野球を楽しもう」をコンセプトとしてスポーツに触れる機会を提供する。子どものスポーツ環境を改善し、スポーツを通して子どもたちの社会性の育成や、地域交流を図る。	309,000	72.7	-	○	309,000	講師等謝礼（指導者）、交通費（スタッフ）、消耗品費及び原材料費（事務用品、コピー用紙、ガムテープ、救急用品、ボール等）、食糧費（作業時飲み物）、印刷製本費（資料）、使用料及び賃借料（収納スペース）、その他経費（のほり、ストラックアウトの等）
23	継続	岩木山観光協会	岩木山エコプロジェクト	岩木山は美しい山であるのに、不法投棄が後を絶たない。遊歩道や登山道を主体に、不法投棄の收拾活動を実施するほか、エコフォーラムの開催や写真展などの啓蒙啓発活動に力をいれることにより、弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図る。	500,000	84.2	-	○	500,000	消耗品費及び原材料費（美化活動消耗品）、燃料費（バス用ガソリン）、印刷製本費（ポスター、大型ポスター）、通信運搬費（ゴミ運搬）、傷害保険料、使用料及び賃借料（参加者移動用バス）、その他経費（ゴミ処分委託費）
24	継続	津軽笛地域づくり実行委員会	ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！ 第5回 津軽笛博覧会	ねぶたや登山囃子などの津軽の笛や太鼓などのワークショップや、青森県の郷土芸能と津軽笛の共演コンサートを開催する。また、全国で唯一の生の笛コンテスト・全日本横笛コンクールの翌日に開催することで、市外からの注目度を上げるほか、津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップを図るとともに、観光客を呼び込むための資源として発信していく。	323,000	80.4	-	○	323,000	講師等謝礼（ワークショップ講師、出演者、司会）、交通費（講師等）、消耗品費及び原材料費（会議資料用消耗品、コピー用紙、プリンターインク等）、印刷製本費（チラシ、ポスター、デザイン料）、通信運搬費（切手）、使用料及び賃借料（会場）、その他経費（応募受付委託）

市民参加型まちづくり1%システム（平成29年度2次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
25	新規	弘前芸術鑑賞会	すこやかセミナーの運営	主に高齢者が集まれる居場所づくりとすることを目的に、週3回健やかセミナーを開催する。健幸増進リーダーと連携して、健康に関する講座を行うほか、生涯学習講座では映画や押し花、物作りなどさまざまな分野にふれる機会を提供する。また、交流イベントでは、参加者から希望を取って講演会や観劇ツアーを行い、参加者同士の交流を図る。	500,000	66.5	—	○	500,000	講師等謝礼（講師）、消耗品費及び原材料費（セミナー材料費）、印刷製本費（ポスター、広報紙）、傷害保険料、付タオ経費（看板作成・設置委託、ラジオ広告）
26	継続	特定非営利活動法人 五能線活性化倶楽部	SL48640号機の保存活動及びSL鉄道教室	新里駅にて公開されているSL48640号機の大規模な改修を行う。県内外から参加者を集め、ペンキ塗り等をしていただくほか、電車やSLについて知っていただくため、子どもを対象とした鉄道教室を開催する。観光コンテンツや産業遺産として再認識していただくとともに、電車に興味を持っていただくことで、保存活動の後継者育成を考えていく。	500,000	67.0	—	○	500,000	消耗品費及び原材料費（メンテナンス用品、塗装用品、コピー用紙等）、食糧費（作業時飲み物）、通信運搬費（資材送料、資材運送）、イベント保険料、使用料及び賃借料（足場、コンプレッサー、ガスバーナー）、その他経費（板金及び溶接）
27	継続	桔梗野町会	国際交流事業(1)国際交流 夏祭り(2)国際交流 餅つきフェスティバル	町会内にある弘前大学国際交流会館に居住する留学生・弘前大学関係者と町会住民が交流を図るため、国際交流夏祭りと餅つきフェスティバルを開催する。夏祭りでは、盆踊りや留学生のスピーチ、餅つきフェスティバルでは留学生の餅つき体験、留学生による合唱・民族舞踊といった、それぞれの文化を体験しあうことで、お互いの理解を深め、親睦を深める。	130,000	68.0	—	○	130,000	消耗品費及び原材料費（会場設営用材料、コピー用紙、プリンタインク、ポスター用紙、ポスターカラー、クレヨン等）、食糧費（作業時飲み物）、使用料及び賃借料（軽トラック、音響機材）、その他経費（打ち上げ花火、配線手伝い謝礼）
28	新規	弘前男女らくご振興協会	焦点一弘前とかけ落語ととく、その団体とは一	落語を通して、コミュニケーションのコツを知ってもらい、人を笑わせる技術などを高めてもらう機会を創出するため、現役の噺家による「落語教室」を開催する。発声練習、小咄の作り方などの内容を通して、コミュニケーションのコツを知ってもらうことで、さまざまな場面や立場での対話等に生かしてもらう。	466,000	62.2	—	○	466,000	講師等謝礼（講師）、交通費（講師）、消耗品費及び原材料費（封筒、セロハンテープ、名札、ゴミ袋等）、印刷製本費（チラシ、ポスター、資料）、通信運搬費（切手、はがき）、使用料及び賃借料（会場）、その他経費（毛氈、印紙）
29	新規	NPO法人 藤代地域ふれあいの会	藤代地域「お山参詣」実施事業	藤代地区の地域住民が、共通の課題や目的を持って物事を解決する力や方法を、次世代につなげる機会として、「お山参詣」事業を実施する。子どもから大人まで準備からお山参詣をするまでの工程を体験してもらい、世代交流を通じて子どもの健全育成と地域づくりに努める。	500,000	50.2	—	×	—	（審査委員会での主な意見） 地域ぐるみの行事を通して、自分たちの住む地域の活性化を図るという思いは理解できますが、勉強会から始めて地域の理解を深めたり、スタッフ側がノウハウを身に付けるなど、一歩一歩でできる範囲から事業に取り組んでいただきたい。
30	新規	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	弘前市の将来を考えるフォーラム テーマ 人口減少時代の地域における権利擁護のしくみ	「権利擁護」に関するフォーラムの中で、全国規模で講師を招聘し、基調講演やテーマ別の分科会、グループ討議などを行う。全国や県で取組をしている団体と、地元の取組を発表し合うことで交流を図るとともに、人口減少問題を抱える弘前市に生かせる取組を探る。	500,000	83.7	—	○	500,000	講師等謝礼（講師、発表者）、交通費（講師、発表者）、消耗品費及び原材料費（封筒、宛名シール、コピー用紙）、印刷製本費（チラシ、ポスター、資料）、通信運搬費（切手）、使用料及び賃借料（会場、会場備品）
合計					10,691,000	—	採択 25事業 不採択 4事業 辞退 1事業		9,388,000	

審査項目

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる